

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	②臨海部	4	市民に親しまれる港湾づくり

事業名	港湾振興対策事業(港湾エリア活性化事業補助金)	担当課名	地域経済課
-----	-------------------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
泉大津市内にある海側のエリアにおいて、地域の多様な主体が本市のまちづくりと一体となって活性化に取り組む事業に対し、補助金を交付することにより、魅力ある空間を創出し、市内外から交流人口の促進を図る。
(事業概要等)
民間事業者等が取り組む「にぎわいを創出するイベント事業」及び「にぎわいを創出する施設整備事業」に対し補助金の交付を行う。補助率及び金額については、「にぎわいを創出するイベント事業」が補助対象経費の2分の1以内(1事業の限度額は100万円)、「にぎわいを創出する施設整備事業」が補助対象経費の4分の3以内(1事業の限度額は1,000万円、2回目以降は限度額500万円)。

【事業費】

項目/年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	-	1,000	8,065	30,000	
うち市負担分(千円)	-	1,000	8,065	30,000	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
申請件数	件	-	1	3	3
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
なぎさ公園NGRILLにて新設トイレ、パラソル、キッズスペース、広報用掲示板を設置。7月、8月の2か月で来場者数6,000人を記録した。なぎさ公園にてフードフェスを実施。キッチンカーやブース出展により、1,000名が来場した。汐見公園にてキャンプイベントを実施。キャンプ体験やテントサウナ体験、キャンプファイヤーなど、汐見公園の特性を生かしたコンテンツを造成し、悪天候にも関わらず250人の参加があった。					

【事務の見直し点】

R3年度からの改善点	補助対象事業に「にぎわいを創出する施設整備事業」を追加し、補助率及び金額を補助対象経費の4分の3以内、1事業の限度額は1,000万円、2回目以降は限度額500万円とした。
------------	---

【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	集客の見込みが不透明な中で初期投資が多額となるため、事業を開始するにあたっては慎重になり事業開始に至らない。
-----------------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	B 改善し継続	(左記評価の理由) 令和5年度からはトイレ・シャワーなど設備のリース費用を補助対象とすることで、初期費用の軽減を図るとともに、期間を限定した営業など柔軟な営業形態に対応することによって誘致を進める。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	②臨海部	4	市民に親しまれる港湾づくり

事業名	港湾振興対策事業(清掃業務委託事業)	担当課名	地域経済課
-----	--------------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)	港湾地区内の緑地、緑道及び歩道の景観について、常に良好な環境を維持する。
(事業概要等)	緑地(泉北4区)、小松緑道(泉北5区)、助松緑道(泉北6区)、汐見緑道(泉北7区)において清掃を行う。

【事業費】

項目/年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	2,043	2,043	2,216	2,333	
うち市負担分(千円)	2,043	2,043	2,216	2,333	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
清掃実施回数		77	77	79	79
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
各港湾地区の不法投棄ごみの量に応じた清掃回数を実施したことにより、緑道・歩道の良好な環境を維持できた。					

【事務の見直し点】

R3年度からの改善点	汐見緑道(泉北7区)清掃では、年22回実施していたが、月に1回の時に間隔が開きゴミが散乱するため、令和4年度から清掃実施回数を2回増やし、月2回実施することとした。
------------	--

【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	現在、シルバー人材センターを活用し、港湾地区の緑道・歩道の美化に努めているが、当該地区においては、日常的に不法投棄やごみのポイ捨てなどが多くみられるため、利用者の美化意識の醸成に向けた意識啓発が必要である。
-----------------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 港湾地区内の緑道・歩道は市民がジョギングや散歩をするコースであり、常に良好な景観を維持する必要がある。 また、港湾地区は不法投棄ごみが非常に多いため、今後も清掃業務が必要である。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑥誇れる・選ばれる・集える まちづくり	①商工業	①	地域産業の振興

事業名	地域産業振興対策事業(泉大津未来ビジョン事業)	担当課名	地域経済課
-----	-------------------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
泉大津の将来に向け、未来を担う子供たちの健全な育成と、豊かな市民生活の実現を目的として開催する「泉大津未来ビジョン」を充実させ、「繊維のまち・泉大津」をPRする。
(事業概要等)
泉大津未来ビジョンにおいて実施する「毛布・ニット謝恩セール」などの各行事に対して補助支援を行う。 ○商連わいわいフェスタ ○毛布謝恩セール ○ニット謝恩セール ○おづみんフェスタ ○泉大津マルシェ

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	0	3,515	4,000	4,000	
うち市負担分(千円)	0	3,515	4,000	4,000	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
未来ビジョンが実施した補助対象事業数	件	-	5	5	5
支援を行った事業への参加者数	人	-	11,670	15,515	10,700
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
今年度も前年度と同様、感染対策を十分に考慮し、日程の分散や会場も室内に変更し来場者数の管理や感染対策の措置等をしたうえでの開催とした。それぞれの事業が好評を博し、いずれの事業も大阪府下に浸透した事業として、賑わいを見せた。					

【事務の見直し点】

R3年度からの改善点	市のデジタルスタンプラリー事業と連携し、イベントを周遊する仕組みを作り、各イベントとの相乗効果を図った。
------------	--

【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	
-----------------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 本事業は、泉大津市全域にわたり実施される事業であり、「繊維のまち・泉大津」を市内外にPRでき、まちの活性化を図ることができる事業であるため。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑥誇れる・選ばれる・集える まちづくり	①商工業	①	地域産業の振興

事業名	地域産業振興対策事業(染色整理業活性化補助金)	担当課名	地域経済課
-----	-------------------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
本市の地域産業である繊維産業に密接に関連する染色整理業の振興を図るため、染色整理事業者で構成される大阪毛布毛織物等染色整理工業協同組合が行う染色整理業の振興を図るための取組みを支援し、地域産業の振興に資する。
(事業概要等)
大阪毛布毛織物等染色整理工業協同組合が染色整理業の振興を図るために行う取引条件の改善に寄与する事業及び各事業者が地域産業基盤安定化事業として実施する構造改善のための取組みに関する指導等の取組に対する補助を行う。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	0	140	130	186	
うち市負担分(千円)	0	140	130	186	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
(指標を設定できない理由)					
年度ごとに事業内容が変わるため、指標を設定することが困難。					
(成果の概要)					
染色整理加工事業者の加工技術研修、取引慣行改善に取組み、業界のサプライチェーン維持活性化を図った。					

【事務の見直し点】

R3年度からの 改善点	
----------------	--

【課題(問題点)】

R4年度における 課題(問題点)	
---------------------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 地域産業である繊維産業に密接に関連する染色整理業の振興を図るため、大阪毛布毛織物等染色整理工業協同組合が実施する事業に対し、引き続き支援を行う。
	改革・改善 策等の具体的 内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑥誇れる・選ばれる・集える まちづくり	①商工業		地域産業の振興

事業名	地域産業振興対策事業	担当課名	地域経済課
-----	------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

本市地域経済の重要な位置を占める繊維関連産業における販路開拓、新商品・新技術の開発のための取組みを支援し、もって地域産業・経済の発展に資する。

(事業概要等)

地域産業関連諸団体や地域産業を主たる事業とする地域グループが行う地域製品の展示会等への出展事業やビジネスマッチング事業、海外への販売促進活動事業など地域産業振興にかかる「販路開拓事業」や、大都市圏での展示会等に向けて行う新商品・新技術等の研究開発事業や調査研究事業、異業種交流など地域産業振興に係る「新商品・新技術事業」に対して補助を行う。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	5,764	5,971	5,671	7,994	
うち市負担分(千円)	5,764	5,971	5,671	7,994	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
補助事業者数	件	5	5	5	5

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

地域産業関連諸団体や地域産業を主たる事業とする地域グループが行う地域製品の展示会等への出展事業やビジネスマッチング事業、海外への販売促進活動事業、オンラインを活用した販路開拓など地域産業振興にかかる「販路開拓事業」や、大都市圏での展示会等に向けて行う新商品・新技術等の研究開発事業や、調査研究事業、異業種交流などの「新商品・新技術事業」に対し支援し、地域産業・経済の発展に資することができた。

【事務の見直し点】

R3年度からの 改善点	
----------------	--

【課題(問題点)】

R4年度における 課題(問題点)	
---------------------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 販路開拓事業では「繊維のまち・泉大津」のPRが、新商品開発事業では展示会において成果が出ており、今後も事業の拡大及び成果が期待できる。
	改革・改善 策等の具体的 内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑥誇れる・選ばれる・集える まちづくり	①商工業	②	地域ブランドの活用と確立

事業名	織編エッセイ賞事業	担当課名	地域経済課
-----	-----------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)	国内生産の約9割を占める毛布をはじめ、ニット製品や毛織物を生産する「繊維のまち・泉大津」を全国へPRすることにより、地域産業の活性化を図る。
(事業概要等)	衣服や繊維製品にまつわる思い出や感動したことなど、“繊維製品”に触れる内容のエッセイを広く公募する。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	1,970	1,968	1,879	2,325	
うち市負担分(千円)	1,770	1,768	1,679	2,125	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
「泉大津市オリアム随筆賞」応募件数	件	382	342	281	350
「文学フォーラム及び表彰式」来場者数	人	32	41	53	80

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

関西を代表する著名人が選考委員を務めるオリアム随筆賞(衣服や繊維製品にまつわる思い出や感動したことなど、“繊維製品”に触れる内容のエッセイ)を実施し、国内生産の約90%を占める毛布をはじめ、ニット製品や毛織物を生産する「繊維のまち・泉大津」を全国へPRすることができた。
令和4年度は、例年開催している「文学フォーラム」は、市制施行80周年という冠をつけ、例年の選評を中心とした内容ではなく、市長と選考委員のエッセイについて対談する形式で実施した。

【事務の見直し点】

R3年度からの改善点	文学フォーラムでは、選考委員の方々のそれぞれの考えなどを自由に述べてもらいやすいように、選評の時間を短縮し、各テーマを設けて、テーマに対して自由に発言してもらうことで、フォーラムの来場者により楽しんでもらい、本事業に興味を持ってもらえるようにした。
------------	--

【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	より効果的な広報活動を実施し、応募者数及び文学フォーラムにおける来場者数を増加させることにより、本市の知名度を上げ、地域の活性化を図る必要がある。また、泉大津市民の応募が少ないことから、本事業への市民の認知度を上げ、多くの方に参加いただくことにより、市民に対しても「繊維のまち・泉大津」をPRしていく必要がある。
-----------------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	B 改善し継続	(左記評価の理由) 泉大津市民からの作品応募が少数であり、市民の認知度を上げ、応募者数を増やす必要がある。
改革・改善策等の具体的内容	泉大津市内の中学校、高等学校と連携し、エッセイ教室、セミナーなどを開催し、市民への周知と応募者数の増加を図る。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑥誇れる・選ばれる・集える まちづくり	①商工業	②	地域ブランドの活用と確立

事業名	泉大津プロモーション事業	担当課名	地域経済課
-----	--------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)	泉大津市の知名度を上げ地域の活性化を図るため、行政と産業界が一体となって市のPRを行う。
(事業概要等)	市のPRのため、野外コンサート会場や全国各地のイベントなどでのシティプロモーションの実施や、泉大津駅におけるイルミネーション事業、特産品PR等の事業を展開する。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	6,500	5,700	5,700	14,485	ふるさと応援基金 充当
うち市負担分(千円)	3,500	3,500	1,300	1,550	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
(指標を設定できない理由)					
市のPR活動を目的としているため。					
(成果の概要)					
泉大津市立図書館内の特産品直売所「CO-ON」や駅前商業施設内での特産品販売、全国の展示会に出展するなどを通して繊維のまち泉大津を市内外にPRすることができた。 市内散策を促進するデジタルスタンプラリー等、ARシステムを活用したプロモーション活動や駅前でのイルミネーション、市制施行80周年を記念した事業やイベントなど、市内外に向けて、特産品や本市の魅力、施行80周年を広くPRすることができた。					

【事務の見直し点】

R3年度からの 改善点	
----------------	--

【課題(問題点)】

R4年度における 課題(問題点)	
---------------------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 新たな事業を含め、「繊維のまち・泉大津」のPR事業等を展開することができた。
	改革・改善 策等の具体的 内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑥誇れる・選ばれる・集える まちづくり	①商工業	②	地域ブランドの活用と確立

事業名	日本一の毛布のまちPR事業	担当課名	地域経済課
-----	---------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
本市の特産品である毛布の製造、または販売する事業者の振興、ならびにその特産品のPRによる産業振興を図る。
(事業概要等)
特産品のPRによる産業振興を図るため、本市内の空き店舗等を利用し、特産品のPRかつ販売をする事業に対し支援を行う。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	200	200	200	200	
うち市負担分(千円)	200	200	200	200	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
空き店舗等を利用し、販売活動を実施した回数	回	9	8	8	8
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
本市の特産品である毛布のPRを行い、本市内も含む全国へ「日本一の毛布のまち泉大津」をアピールすることができた。					

【事務の見直し点】

R3年度からの 改善点	
----------------	--

【課題(問題点)】

R4年度における 課題(問題点)	
---------------------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 本市の特産品である毛布のPRを行い、「日本一の毛布のまち泉大津」を広くアピールすることができた。
	改革・改善 策等の具体的 内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑥誇れる・選ばれる・集える まちづくり	①商工業	⑤	新規産業の創出と育成

事業名	産業振興対策事業(会社設立支援事業補助事業)	担当課名	地域経済課
-----	------------------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
市内における創業・起業を促進することにより、本市の更なる地域産業の活性化を図るため、本市内に本店を置く会社等(株式会社、合名会社、合資会社又は合同会社)を新たに設立する者に対する設立時の経済的支援事業を行う泉大津商工会議所に対し補助金を交付する。
(事業概要等)
会議所を申請窓口とし、本市内に本店を置く会社等を新たに設立する事業者の定款作成に係る設立当初の経済的負担を支援することにより、本市内における創業、起業を促進する。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	-	456	353	1,535	R4年度はふるさと 応援基金充当
うち市負担分(千円)	-	456	0	1,535	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
補助事業者数	社	-	10	7	10
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
初めて創業・起業する事業者や個人事業主からの法人化する事業者の経済的負担を支援することができ、今後の円滑な事業運営に寄与することができた。					

【事務の見直し点】

R3年度からの 改善点	
----------------	--

【課題(問題点)】

R4年度における 課題(問題点)	
---------------------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 引き続き本事業を実施することで、本市における創業者の支援につながると考える。
	改革・改善 策等の具体的 内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑥誇れる・選ばれる・集える まちづくり	①商工業	⑤	新規産業の創出と育成

事業名	産業振興対策事業(創業支援事業)	担当課名	地域経済課
-----	------------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
産業の活力を維持し、より一層発展していくため、泉大津商工会議所が行う市内での創業促進のための取組みなどを支援し、市内産業の振興に資する。
(事業概要等)
泉大津商工会議所が創業促進のために実施する創業セミナーや市内開業者への設備補助等の取組みに対する支援を行う。

【事業費】

項目/年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	790	906	758	1,130	R3,R4,R5年度は ふるさと応援基金 充当
うち市負担分(千円)	790	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
創業セミナーの参加者数	人	29	19	21	30
設備補助事業者数	件	12	13	10	15
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
泉大津商工会議所が行う創業支援事業に対し、市内開業者の振興を図ることができた。					

【事務の見直し点】

R3年度からの 改善点	
----------------	--

【課題(問題点)】

R4年度における 課題(問題点)	創業希望者に対する創業しやすい環境づくりなどの支援が必要である。
---------------------	----------------------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 引き続き、市内での創業・起業の促進を図るため、泉大津商工会議所が実施する活性化事業に対し支援を行う。
	改革・改善 策等の具体的 内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑥誇れる・選ばれる・集える まちづくり	①商工業	⑤	新規産業の創出と育成

事業名	産業振興対策事業(創業支援補助金事業)	担当課名	地域経済課
-----	---------------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
本市内で新たに創業する者に対し支援を行うことにより、本市の更なる地域産業の活性化や新たな雇用創出を引き出す。
(事業概要等)
本市の更なる地域産業の活性化や新たな雇用創出を引き出すため、本市内の空き家及び空き店舗等を活用し、新たに創業する者に対し家賃補助を行う。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	515	540	350	9,000	R3、R4、R5はふるさと応援基金充当のため
うち市負担分(千円)	515	0	0	3,600	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
支援事業者数	社	8	7	5	15
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
本市市内で新しく事業を始める事業者に対して、初期投資を軽減させるための家賃補助を行い、本市内の起業を促進させることができた。					

【事務の見直し点】

R3年度からの改善点	事業内容を記載したチラシ、パネルを作成し、図書館の創業コーナーに設置し、本制度を必要とする事業者へ情報が届くよう広報した。
------------	---

【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	申請件数が減少傾向にあり、空き店舗等の条件を満たす物件がどの程度あるか、空き店舗の解消に結びついているか検証し、条件の緩和や支援内容の拡大を検討する必要性があった。
-----------------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	B 改善し継続	(左記評価の理由) 対象要件の緩和及び支援内容の拡大を行い、創業・起業の促進及び創業時のスタートアップ支援を強化する必要があるため
改革・改善策等の具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> ・空き店舗等の条件の撤廃 ・テナントビルでの創業も対象に含める ・補助金の上限額、補助対象期間の拡大 	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑥誇れる・選ばれる・集える まちづくり	①商工業	⑤	新規産業の創出と育成

事業名	産業振興対策事業(中小企業事業資金融資関連事業)	担当課名	地域経済課
-----	--------------------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

市内中小企業者の経営の安定と振興を図るため、中小企業信用保険法に基づく大阪府制度融資に関する業務及び利子補給等の関連業務を行い、市内産業の振興に資する。

(事業概要等)

市内中小企業者に対し、中小企業信用保険法に基づく大阪府中小企業事業資金融資のあっせん及び特定中小企業者の認定等の業務を行うとともに、長引く経済不況による影響に対処するため、市内中小企業者が必要とする事業資金の借入金に対し、利子の一部を補給する中小企業事業資金利子補給制度を実施する。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	927	612	474	1,000	
うち市負担分(千円)	927	612	474	1,000	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
利子補給件数	件	81	58	47	75

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

市内中小企業者が必要とする事業資金の借入金に対し、利子の一部を補給することにより、市内中小企業者の経営の安定と振興を図ることができた。

【事務の見直し点】

R3年度からの 改善点	
----------------	--

【課題(問題点)】

R4年度における 課題(問題点)	市内にある全ての事業者を把握することは困難で、制度自体のより一層の広報・周知が必要である。
---------------------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 本事業のうち、大阪府制度融資に関する業務及び利子補給については、原則的にこれまでの体制を継続する。
	改革・改善 策等の具体的 内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑥誇れる・選ばれる・集える まちづくり	①商工業	⑥	商業・サービス業の振興

事業名	産業振興対策事業(産業活性化事業)	担当課名	地域経済課
-----	-------------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
本市の商業の発展及び振興を図るため、各種団体が自ら主体となって行う活性化事業に支援を行い、市内商業の活性化に資する。
(事業概要等)
商店街の空き店舗を活用した事業や、商店街の来街者増加に向けた各種イベント事業に対し、支援を行う。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	1,369	2,775	3,521	3,705	
うち市負担分(千円)	1,369	2,775	3,521	3,705	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
補助団体数	団体	1	3	3	3
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
商店街の空き店舗を活用し、カルチャー教室を開催する等、地域消費者の利便性向上や来街者増加から、市内商業の振興を図ることができた。					

【事務の見直し点】

R3年度からの 改善点	
----------------	--

【課題(問題点)】

R4年度における 課題(問題点)	
---------------------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 引き続き、商業の発展及び振興を図るため、商業関係団体が実施する商業活性化事業に対し支援を行う。
	改革・改善 策等の具体的 内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑥誇れる・選ばれる・集える まちづくり	①商工業	⑥	商業・サービス業の振興

事業名	産業振興対策事業(キャッシュレス推進支援事業)	担当課名	地域経済課
-----	-------------------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)	本市の事業者・商工業者の活性化を図るため、キャッシュレス決済の環境整備を支援し、市内商業・商工業の振興に資する。
(事業概要等)	市内のキャッシュレス決済対応端末の導入などのインフラ整備を進める事業者に対し、費用の一部を助成するなど、キャッシュレス推進支援を行う。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	440	76	60	430	ふるさと応援基金 充当
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
キャッシュレス決済端末導入支援件数(R2年度は別事業実施)	件	/	2	2	5

(指標を設定できない理由)
年度ごとに事業内容が変わるため、指標を設定することが困難。

(成果の概要)
泉大津商工会議所が市内の事業者・商工業者のキャッシュレス推進を図るために実施した取組み(キャッシュレス決済端末や周辺機器の導入費用を助成)を支援し、商業・商工業の発展、振興を図ることができた。

【事務の見直し点】

R3年度からの 改善点	
----------------	--

【課題(問題点)】

R4年度における 課題(問題点)	近年はキャッシュレス化の流れ、新たなキャッシュレスが出ていることや、決済手数料、入金サイクルなど事業者には負担が、キャッシュレス促進の障害となっている。
---------------------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	B 改善し継続	(左記評価の理由) キャッシュレス決済端末の導入支援の内容の拡充を行い、キャッシュレス化の流れに市内事業者が取り残されないよう引き続き支援を行う。
改革・改善 策等の具体的 内容	キャッシュレス決済端末(スマレジ)の導入支援を行っているが、端末の型番等を指定しているため、型番指定などの要件を緩和し、事業者の申請の促進を図る。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑥誇れる・選ばれる・集える まちづくり	①商工業	⑥	商業・サービス業の振興

事業名	産業振興対策事業(販路開拓事業)	担当課名	地域経済課
-----	------------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)	市内の事業者・商工業者の活性化を図るため、泉大津商工会議所が行う、新規顧客獲得のための販路開拓事業に関する取組みなどを支援し、市内商業・商工業の振興に資する。
(事業概要等)	市内の事業者・商工業者の新規顧客獲得のために泉大津商工会議所が実施する集客イベントなど、販路開拓に関する取組みなどへの支援を行う。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	2,716	3,769	3,675	3,910	R3,R4,R5年度は ふるさと応援基金 充当
うち市負担分(千円)	2,716	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
(指標を設定できない理由)					
年度ごとに事業内容が変わるため、指標を設定することが困難。					
(成果の概要)					
泉大津商工会議所が市内の事業者・商工業者の販路開拓を図るために実施した取組みを支援し、商業・商工業の発展、振興を図ることができた。					

【事務の見直し点】

R3年度からの 改善点	
----------------	--

【課題(問題点)】

R4年度における 課題(問題点)	
---------------------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 引き続き、市内の商業・商工業の発展及び振興を図るため、泉大津商工会議所が実施する活性化事業に対し支援を行う。
	改革・改善 策等の具体 的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑥誇れる・選ばれる・集える まちづくり	③農業・漁業	1	次世代経営者への経営環境の提供

事業名	団体等育成支援事業	担当課名	地域経済課
-----	-----------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
泉大津漁業協同組合と協力して、良好な漁業環境の整備を行い、安全操業の確保および漁業従事者の維持を図ることにより、市民が漁業への理解を深め、親しみやすい漁港環境を整える。
(事業概要等)
泉大津漁業協同組合が行う港内及び周辺地域の清掃・漁場の監視・漁業情報の収集等を行い水産振興対策運営事業に対して補助金を交付する。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	267	267	267	267	
うち市負担分(千円)	267	267	267	267	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
年間港内・漁場清掃回数	回	12	12	12	12
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
港内清掃及び漁場の整備・監視等により、漁業の維持管理を図ることができた。また、漁業協同組合と立ち上げた水産産業再生委員会において、今後の漁業経営の安定化に向け策定を行ったプランの実施に努めている。					

【事務の見直し点】

R3年度からの 改善点	
----------------	--

【課題(問題点)】

R4年度における 課題(問題点)	港内清掃及び漁場の整備・監視等により、漁業の維持管理を図ることができた。また、漁業協同組合と立ち上げた水産産業再生委員会において、今後の漁業経営の安定化に向け策定を行ったプランの実施に努めている。
---------------------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 漁業環境の整備によって、安全操業の確保や漁業従事者の維持を図るとともに、今後「浜の活力再生プラン」の実施により一層の漁業の活性化を進める必要がある。
改革・改善 策等の具体的 内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑥誇れる・選ばれる・集える まちづくり	③農業・漁業	1	次世代経営者への経営環境の提供

事業名	農地対策事業	担当課名	地域経済課
-----	--------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
地域の農業振興のために欠かすことのできない農業用ため池の保全を行う。また、ため池の適正な維持管理のために管理者である水利組合に必要な支援を行う。
(事業概要等)
ため池での事故等を未然に防ぐために安全対策を講じるとともに、景観等の維持のために水利組合と共同で除草等を行い、適正なため池管理を行う。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	7,334	2,180	1,181	1,185	除草に関して水利 組合負担分あり
うち市負担分(千円)	1,026	2,015	1,016	1,020	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
草刈日数	日	15	15	15	15
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
ため池堤体の除草を行うことで、池の景観形成につながった。					

【事務の見直し点】

R3年度からの 改善点	
----------------	--

【課題(問題点)】

R4年度における 課題(問題点)	
---------------------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 農業用水源としてのため池の保全等、維持管理に努めるとともに、ため池景観の維持に努める。
改革・改善 策等の具体的 内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑥誇れる・選ばれる・集える まちづくり	③農業・漁業	2	地産地消の推進と安全安心な食の提供の推進

事業名	経営所得安定対策等推進事業	担当課名	地域経済課
-----	---------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
営農者に対して、国が推進する経営所得安定対策等推進事業を行う泉大津市農業再生協議会の運営を支援する。
(事業概要等)
泉大津市農業再生協議会の運営及び、同協議会が行う経営所得安定対策等推進事業や地域農業振興事業、担い手育成事業に対して助成を行う。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	384	329	308	524	
うち市負担分(千円)	1	2	1	124	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
交付申請者数	人	7	7	7	7
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
事業の活用により、営農者の農業経営の安定化が図られた。					

【事務の見直し点】

R3年度からの改善点	
------------	--

【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	農業担い手の高齢化や後継者不足により、農地の宅地化が進行しているため、より効果的な農業の安定対策についてJAいずみのと協議が必要である。
-----------------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 市域全体が市街化区域であり、今後においても厳しい営農環境が想定されることから、今後も安定した農業経営対策は必要である。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑥誇れる・選ばれる・集える まちづくり	③農業・漁業	2	地産地消の推進と安全安心な食の提供の推進

事業名	農業振興対策事業	担当課名	地域経済課
-----	----------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
市内全域が市街化区域であり、営農世帯や農地等は減少傾向にあるが、農地は地元産野菜の栽培を通じた地産地消の推進以外にも緑地機能や防災機能も有することから、積極的に保全していく必要がある為、都市農業の振興や営農改善のために支援を行う。
(事業概要等)
都市農業の振興や営農改善のために、JAいずみのが主体で行う農作物契約栽培事業及び花と緑の推進事業並びに営農改善対策事業に対して補助金を交付する。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	848	800	820	1,163	
うち市負担分(千円)	848	800	820	1,163	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
水稻作付面積	ha	12	12	12	12
農業まつり来場者数	人	-	-	-	-
アグリWeekいずみの来場者数	人	400	150	-	-
景観形成作物作付面積	ha	1	2	2	2
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
厳しい農業環境のなか、一定の作付面積の確保を図ることができた。また、休耕田にレンゲやコスモスを栽培し、オープンスペースの景観形成を行い、都市景観の向上につながった。 毎年秋にJAいずみのが主催する農業まつりについては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止し、代替イベントとして「アグリWeekいずみの」を開催し、地域で生産された野菜の販売支援を行い、地産地消を推進するとともに都市農業の振興やPRを行った。					

【事務の見直し点】

R3年度からの改善点	
------------	--

【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	農業担い手の高齢化や後継者不足により、農地の宅地化が進行しているため、より効果的な農業振興対策についてJAいずみとの継続協議が必要である。
-----------------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 市域全体が市街化区域であり、今後においても厳しい営農環境が想定されることから、今後も都市農業の振興や営農改善対策は必要である。
改革・改善策等の具体的内容		